

次世代コンピュータが実現する革新的ビジネス

～量子コンピュータ/アニーリングマシンが切り開く未来～

次世代コンピュータが、ビジネスを変える。

ビッグデータやIoT、AI技術などが普及する中、大量の情報を瞬時に処理し、新たなビジネスを生み出すと期待されている次世代コンピュータ。

そのトップランナーが「アニーリングマシン」です。既に各分野において、先進的なユーザ企業による実ビジネスへの適用が開始されつつあります。

本シンポジウムでは、量子コンピュータの一種である量子アニーリングマシンを中心に、先進的なユーザ企業や本分野の第一人者、海外のリーディングカンパニーより、ビジネスへの適用事例や今後の更なる可能性について、ご説明します。

◆ 本シンポジウムでご紹介する主な内容

- ・ アニーリングマシンとは何か、何故ビジネスに適用できるのか
- ・ 先進的なユーザ企業による活用状況、今後のビジネス戦略
- ・ ユーザ企業ハブ（※）における新たな適用領域の開拓状況
※大学がハブとなり、ユーザ企業参画の下、ビジネスへの新たな適用領域の開拓等を進める取組
- ・ アニーリングマシン開発の最前線、将来の可能性

◆ アニーリングマシンのユースケース例



人々のニーズの変化に即座に
応えるコンテンツ配信



多様な市場ルールの制約と
短時間での市場変動を反映
したポートフォリオ更新



常に変化する配送情報や交
通量を反映した物流オペ
レーション



欲しい性能を持つ新材料
の合成方法を見つけ出す
A I の劇的な高速化

日時 2019年 **5月20日（月）** 13:00～17:00（受付開始12:15）

会場 東京国際フォーラム（東京都千代田区丸の内）ホールB5

費用 **無料**（事前登録制、定員300名）

申込 以下のサイトよりお申し込み下さい。

https://www.semiconportal.com/ngc_sympo2019/



お問い合わせ シンポジウム運営事務局 TEL : 03-5733-4971 E-Mail : ngc_sympo2019@semiconportal.com

主催：経済産業省、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）

共催：早稲田大学、日本電気株式会社、株式会社日立製作所、産業技術総合研究所、日本電信電話株式会社、富士通株式会社

後援：日本経済団体連合会、電子情報技術産業協会

事務局：豊田通商株式会社

プログラム

13:00～14:30

セッション1

先進ユーザ企業のアニーリングビジネス戦略/
量子コンピュータ・アニーリングマシンの可能性①

■ 開会挨拶

西山 圭太 経済産業省商務情報政策局長、田中 愛治 早稲田大学総長

■ AI分野における量子コンピューターの可能性

濱田 優貴
メルカリ取締役CPO



■ 金融分野における次世代コンピューティング技術への期待

谷崎 勝教
三井住友FG取締役執行役専務
グループCIO・CDIO



■ 基調講演

量子アニーリングの現状と展望

西森 秀稔
東京工業大学教授



■ 招待講演

Practical Quantum Computing

Dan Cohrs
CFO, D-Wave Systems



14:40～15:40

セッション2

量子コンピュータ・アニーリングマシンの可能性②

■ 基調講演

篠原 弘道
NTT取締役会長/
日本経済団体連合会審議委員会副議長



■ 招待講演

Pooya Ronagh
Head of Hardware Innovation
Lab, 1QBit



15:50～17:00

セッション3

アニーリングマシンによる新ビジネス創出の最前線

■ デジタルアニーラによる新市場の創出

堀江 健志
富士通理事



■ 早稲田大学におけるユーザ企業
ハブ構築と基盤ソフトウェア開発

戸川 望
早稲田大学理工学術院教授



■ ユーザ企業ハブにおける新ビジネス開拓の最前線



磁性材料

佐々木 智生
TDK室長



デジタル広告

棚橋 耕太郎
リクルートコミュニケーションズ



自動車

寺部 雅能
デンソー



材料×AI

田村 亮
NIMS/
東京大学



■ アニーリングマシン開発の最前線

アニーリングマシンハードウェアの開発動向

川畑 史郎
産業技術総合研究所
研究グループ長



超電導量子アニーリングマシン

中村 祐一
NEC中央研究所理事



CMOSアニーリングマシン

山岡 雅直
日立製作所
主任研究員

